

7/22
(月)

色彩あざやかに 花と緑の環境美化コンクール

茨城町花と緑の環境美化コンクールの審査が行われました。今年度は町内の地域や学校など7団体が参加し、審査の結果、野曽後谷区の花壇が最優秀賞に輝きました。

同コンクールは、豊かな地域づくりを目指し、花いっぱい運動が地域や団体に根差した運動となるよう推進することを目的に実施しています。

野曽後谷区

【最優秀賞】

県道沿い、総延長約380mの花壇は、数十mごとに花の種類や咲いた時のバランスを考えて7種類の花が植えられており、通行者を楽しませています。

子どもから大人まで、区が一体となって花壇づくりに取り組み、三世代交流の場にもなっています。



金沢区民の会

【優秀賞】

色鮮やかな花壇が見る人に元気をくれます。花から摘みや除草などの丁寧な作業が、生き生きと育った花々に反映されています。



上雨ヶ谷女性会

【優秀賞】

長方形の花壇に、配色が考えられた3色の花を三角形に配置しており、花壇を訪れる人の目を引くデザインとなっています。



まさみ幼稚園

【優良賞】

丸い花壇に4種類の花がバランスよく配置され、一つ一つが個性豊かで可愛らしいデザインとなっています。



青葉中学校

【優良賞】

花の種類や色合いが考えられており、高低差のある三角形の構図を生かした、見応えのある花壇となっています。



7/18(木)
~31(水)

日本・茨城の四季を描き出す97歳 大和田正常さん 油彩画個展開催

大和田正常さん(上石崎)が、四季文化館みの〜れ(小美玉市)において、近作27点の油彩画を披露する個展を開きました。

元警察官の大和田さんは、定年退職後に町の絵画クラブに参加したことで油彩画に魅せられ、以降31年間、県内の山や自然、家族との旅先で見た美しい風景などを描き出すことに情熱を注いでいます。

みの〜れでの個展は今回で7回目。大和田さんは、「油彩画は描けば描くほど奥が深い。生ある限り、四季の美しさを残せるよう描き続けたい。」と笑顔を見せてくれました。

